

兵解協だより

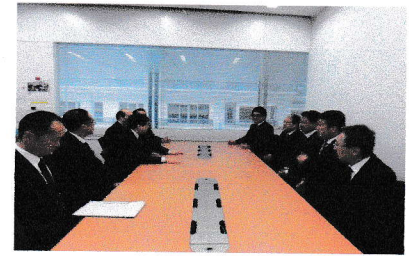
令和2年2月28日に神戸市長と「防災協定」を締結いたしました。



危機管理監と握手する上原理事長



記念写真の撮影



締結後の懇談会の風景

令和2年2月28日(金)13:30から神戸市役所4号館の危機管理センター2階の危機管理室で、神戸市長と「災害時における被災建築物の解体撤去及び緊急時の協力に関する協定、いわゆる「防災協定」を締結いたしました。協定締結式には(一社)兵庫県解体工事業協会からは上原代表理事、金顧問他5名が、神戸市からは、山平危機管理監他4名が出席いたしました。

今回の「防災協定締結」により、神戸市域で大規模災害が発生した場合、緊急時の人員、車両及資機材等の調達や被災した建築物その他工作物の解体撤去に関して、兵庫県解体工事業協会が神戸市に協力を行うこととなります。上原理事長は「大規模災害時に少しでも協力できればという思いで、「防災協定」の締結を神戸市長に要望させていただいておりましたが、本日協定締結式を迎えられました。今後とも大規模災害時の協力体制を確立すべく努力していきたいと述べられました。

これによりまして、(一社)兵庫県解体工事業協会は、これまでに「兵庫県知事」・「兵庫県警察本部長」・「神戸市長」・「姫路市長」と「防災協定」を締結。さらに「全解工連中部・近畿ブロック」・「中国・四国ブロック」と「災害時相互支援協定」を締結いたしております。このように強力に社会貢献を推進していく体制が確立いたしました。また、「防災訓練」にも積極的参加してまいりますので会員の皆様方ご協力いただきますようお願い申し上げます。

「正会員代表者・事務局長会議」「解体工事業業種確立記念式典」「令和2年新年賀詞交歓会」が東京「明治記念館」で開催されました。

令和2年1月31日(金)東京明治記念館で「正会員代表者・事務局長会議」・「解体工事業業種確立記念式典」・「令和2年新年賀詞交歓会」が開催されました。

15時から2階「孔雀の間」で「正会員代表者・事務局長」会議が開催されました。正会員41団体87名・全解工連11名計98名が出席いたしました。会議では全解工連事務局・役員から報告があり質疑応答が行われました。

そして15時30分から「富士の間」で「解体工事業業種確立記念式典」が開催され、井上会長のあいさつの後、高山真幸前会長、石井純一郎元業種改正政策委員会委員長に感謝状が贈呈されました。そして、国土交通省土地・建設産業局建設業課高橋謙司課長による「記念講演」が行

兵解協だより

なわれました。演題は「建設業法における解体工事業追加の意義と解体工事業者の今後の役割について」でした。

そして、18時から「富士の間」で令和2年新年賀詞交歓会が盛大に開催されました。賀詞交歓会には正会員41団体115名、国会議員関係23名、国土交通省。関係団体11名、賛助会員63名、報道関係等20名、合計230名が出席いたしました。

交歓会は井上尚全解工連会長の挨拶で始まり、稲田朋美自民党幹事長代行、岸田文雄自民党政務調査会会長、石井啓一前国土交通大臣・公明党幹事長代行、山口那津男公明党代表などから、挨拶・祝辞が続きました。そして中橋博次名誉会員の乾杯発声があり交歓会は、歓談に入りました。歓談は和やかに行われましたが、19時30分に平典明副会長が中締め挨拶を行い賀詞交歓会は無事終了いたしました。



講演を行なう高橋謙司建設業課長



交歓会で挨拶をする井上尚会長



挨拶をする山口那津男公明党代表

第15回近畿ブロック会議が神戸で開催されました。

令和2年3月11日(水)PM2時から、ANA クラウンプラザホテル神戸9階「サフランの間」で、(公社)全解工連第15回近畿ブロック会議が開催されました。全解工連井上尚会長、出野政雄専務理事、上原満近畿ブロック長をはじめ、兵庫県解体工事業協会、大阪府解体工事業協会、奈良県解体工事業協会、滋賀県解体工事業協会、和歌山県建物解体協会の理事長、会長、理事、事務局長ら合計25名が出席いたしました。会議冒頭に近畿ブロック長の兵庫県解体事業協会上原理事長が、「本日は、新製コロナウイルスで大変な時期にお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、井上会長、出野専務理事におかれましては、遠路よりのご出席誠にありがとうございます。重ねてお礼申し上げます。さて、私が近畿ブロック長に就任してから、あっという間に2年が経過いたしました。この間、微力ながら、近畿ブロック並びに全解工連のさらなる発展に努力をしてみましたが、何とか無事に職務を果たすことができました。これも一重に本日ご出席の皆様方の御理解とご協力の賜物と確信いたしております。改めて、心より感謝申し上げます。次回からは、一般社団法人奈良県解体工業協会の竹島会長様に近畿ブロック長にご就任いただくこととなりますが、これまでに私にお寄せいただきました、皆様方のご厚情、新たに就任されます竹島近畿ブロック長様にも引き続きお寄せいただきますようよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、本日ご出席いただきました皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。皆様方本当にありがとうございました。」と述べられました。

兵解協だより



挨拶をするブロック長



挨拶をする井上全解工連会長



総会の説明をする大阪府名和代表理事

引き続き、井上尚全解工連会長が「このようなご時世ですが、新型コロナウイルスへの対策を取りながらこの業界を引っ張っていくうえで最低限やらなければならないことはやっていかなければなりません。そのような中、本日のブロック会議を開催していただいたことを心から感謝申し上げます。私が会長を仰せつかって丸4年になります。微力ながら解体工事業をどんな目標をもってやっていけばいいのかを皆様と一緒に考えてきました。全国組織として恥ずかしくないような仕組みづくりとして、47都道府県すべてに団体を置き、すべてが一般社団法人化していただけるようにするべく協力を頂いているところです。私は全国のブロック会議にはできるだけ行くようにしています。そのブロック会議を通じて問題点を全解工連にあげていただき、そして全解工連が今やっていること、皆さまに期待すること、やらなければならないことを皆さんにお伝えをして、それを皆さんの会員にお知らせいただくことが、このブロック会議の一番大事な要となっておりますので、実のある会議にさせていただければと思います。」と挨拶をしました。会議は、議題の協議に入り、第31回理事会、第32回理事会の報告が行われ、次に「代表者・事務局長会議」・「業種確立記念式典及び新年賀詞交歓会」の報告や第9回総会が5月29日に大阪で開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響で、懇親会・講演会等が中止され、総会のみ開催することが報告されました。そして、近畿ブロック長が、兵庫県から奈良県に引き継がれることになりました。協議事項の議論が終了後、各府県における、近況報告取り組み事項について情報交換が行われました。兵庫県からは、①昨年9月11日に一般社団法人を設立、初代代表理事に上原満氏が就任。②令和元年11月18日に開催された中国・四国ブロック会議で、鳥取県・岡山県・徳島県・兵庫県の4県の協会間で「災害時相互支援協定」を締結した。③令和2年2月28日に神戸市長と「防災協定」を締結。これにより兵庫県知事、兵庫県警察本部長、神戸市長、姫路市長と「防災協定」を締結することができました。さらに全解工連中部・近畿ブロックの2府8県の協会と「災害時相互支援協定」を締結することができました。④兵庫県解体工事業協会は令和3年に協会設立20周年を迎えるため、令和3年の新春に「祝賀会」を開催することを検討する。と報告いたしました。

最後に全解工連の出野専務理事が、全解工連からの報告、解体工事業界の現状と課題等について報告が行われました。そしてPM4時前に会議はすべて終了いたしました。これで兵庫県解体工事業協会の2年間の当番県の役割を終了しました。次回は、奈良県解体工事業協会主催で、令和2年7月15日頃に京都新都ホテルで開催される予定になっております。